

大笑い一座が「黒瀬川を越えて 宇喜多三代、その先へ」上演に 際して岡山市長を表敬訪問します

瀬戸内市市民劇団「大笑い一座」が、岡山市内で初単独公演「黒瀬川を越えて 宇喜多三代、その先へ」の上演に際して、岡山市長を表敬訪問します。

1 日 時

令和7年5月19日(月)13時～13時15分

2 場 所

岡山市役所本庁舎3階 市長室

3 訪問者

- ・大笑い一座 座長 小幡 恵子氏ほか2名
- ・クラレテクノ株式会社 岡山支所 次長 田中 嘉紀氏ほか1名
(岡山市灘崎文化センター指定管理者)

4 公演内容

- ・公演名:「黒瀬川を越えて 宇喜多三代、その先へ」
- ・日 時:令和7年6月1日 14時開演
- ・場 所:岡山市灘崎文化センター 大ホール (岡山市南区片岡)
- ・主 催:クラレテクノ株式会社
- ・その他:参加費無料
- ・問合せ先:岡山市灘崎文化センター(電話:086-362-1600)

【問い合わせ先】

岡山市文化振興課 新居田・松下 直通086-803-1054 内線3740・3743

文化の種まき応援事業

～ ㊤ 大笑い一座 特別公演 ～

黒瀬川を越えて

宇喜多三代、その先人



全席無料

令和 7 年 6 月 1 日 (日)

開場 13:30 / 開演 14:00

岡山市灘崎文化センター 大ホール

主催

クラレテクノ株式会社

企画・製作



大笑い一座

後援

岡山市 岡山市教育委員会
瀬戸内市 瀬戸内市教育委員会
公益社団法人岡山県観光連盟
宇喜多家菩提寺光珍寺
宇喜多家と砥石城を語る会



観劇希望・お問い合わせ

岡山市灘崎文化センター
086-362-1600



大笑い一座

setouchi.oowarai@gmail.com



～ ㊤ 大笑い一座 特別公演 ～

黒瀬川を越えて

宇喜多三代、その先へ

群雄割拠の戦国時代、備前国。
今の瀬戸内市、砥石城に始まる宇喜多家の歴史。

戦国の梟雄といわれた宇喜多直家は過酷な子供時代を過ごし、巧みな戦略を
駆使して一代で備前、美作一帯の支配者となる。

その子、宇喜多秀家は豊臣秀吉のもとで育てられ、
若くして豊臣政権五大老に上り詰める。

しかし、豊臣への忠義で戦った関ヶ原での敗北、そして逃亡。
八丈島で流人として没落の50年。

岡山城の初代城主の生き様は現代の我々に何を訴えるのか。

令和の時代を生きる岡山のひとへ。

「何があっても生き残れ」

戦国にあっても次世代へ命を繋ぐ宇喜多家の生き方。

黒瀬川（黒潮）を越えて

遙か彼方八丈島へも繋がれた絆の物語。



rug-A



直助



旭日亭さくら



旭日亭さくら



すず(・・)



しらっろ



小野田マン



せつちゃん



かとママ

やさきよ

ベル小林



かとババ



和ちゃん



天梨
(子役)



川村絆波
(子役)



濱岡加奈子
(友情出演)



杏実



戸川寿安
(岡山戦国武将隊
友情出演)

脚本・総合プロデュース 旭日亭さくら 演出・舞台監督 KIIYOKO
音響 梶ちゃん 音響効果 rug-A 照明 KANABE-SOUND
衣装 旭日亭さくら 大道具 旭日亭盛助 写真撮影 chiaki
劇中歌制作 rug-A
楽曲協力 5次元キーボード奏者・作曲家 荻井佑介

主催 クラレテクノ株式会社 企画・製作 大笑い一座
後援 岡山市／岡山市教育委員会／瀬戸内市／瀬戸内市教育委員会／公益社団法人岡山県観光連盟
宇喜多家菩提寺光珍寺／宇喜多家と砥石城を語る会

令和 7 年 6 月 1 日 (日)
開場13:30／開演14:00
岡山市灘崎文化センター
大ホール



観劇希望
お問い合わせ

岡山市灘崎文化センター
0869-362-1600



大笑い一座

setouchi.oowarai@gmail.com

